

平成16年度の主な行事予定

千葉県文化財センターでは、平成16年度の普及活動として、次のような行事を予定しています。是非ご参加ください。

発掘調査の現地説明会

当センターが平成16年度に実施する発掘調査の成果を、現地において一般公開します。

場所(遺跡)：決まり次第お知らせします。
開催日：決まり次第お知らせします。
対象者：一般(無料)



木更津市根岸古墳

千葉県遺跡調査研究発表会

県内で発掘調査した最新の成果を発表し、同時に出土した土器や石器などを展示解説します。

会場：千葉市文化センター
(千葉中央ツインビル2号館内)
開催日：平成17年1月30日(日)
対象者：一般(無料)

ドッ土器ッと古代“宅配便”

ー見て・さわって歴史体験ー

発掘調査で出土した実物の土器や石器などを学校や社会教育施設などに貸し出し、授業などで活用していただく企画です。

ご希望の施設まで宅配いたします。また、体験学習などの出張授業にも伺います。

申込：随時受け付けています。
対象者：県内の学校・社会教育施設(無料)



松戸市小金北小学校

体験シリーズ

ー古代・モノづくり工房ー

昔の人たちが使っていた石器や装飾品(勾玉・管玉など)を、専門家の指導で作ってみたい、古代の火起こし具を自分たちで製作して、実際に火起こしを体験したりする企画です。

県内の博物館など公共施設を会場として、各地域で開催する予定です。

開催内容：その都度お知らせします。
対象者：その都度お知らせします。
参加費：(100円～200円程度)の負担があります。



「勾玉づくり」



「石器づくり」

掘り起こされた房総の歴史

ー千葉県文化財センター30周年記念展ー

当センターの設立30周年を記念して実施する企画展で、毎年実施しています「出土遺物巡回展」に代えて16年度のみ開催します。

当センターがこれまでに調査した出土品の中から、より貴重な遺物を厳選し展示します。

会場・会期：
①県立中央博物館
平成16年9月26日(日)～11月3日(水)
②県立現代産業科学館
平成16年11月9日(火)～12月12日(日)
③県立房総風土記の丘
平成16年12月18日(土)～2月6日(日)
④県立安房博物館
平成17年2月11日(金)～3月21日(月)
対象者：一般(無料)



巡回展での展示

その他・一般公開

公開事業	公開の概要	公開日・時間	費用	対象
文化財センター展示室	センター保管資料の一部を展示し、一般公開しています。	土・日・祝日年末年始を除く平日 (9:30～16:30)	無料	一般
図書室の利用	県内をはじめとして、全国の埋蔵文化財発掘調査報告書約3万冊、考古学関係の本・図録・雑誌・研究紀要等約3万5千冊が閲覧できます。	土・日・祝日年末年始を除く平日 (9:00～17:00)	無料	一般

表紙の説明

おのうながごう
三直中郷遺跡の大足
(君津市三直字沖田)

この写真は、奈良・平安時代の水田跡で発見された大足の出土状況です。大足は水田を平らにした後、肥料を踏み込むために履く田下駄の一種です。写真左側の大足は、全長84cm、全幅51cmの大きさと、ヒノキ材で作られほぼ完全な形です。



VOL. 33



ISSN 0919-0848
Boso no bunkazai

平成16年2月27日 財団法人 千葉県文化財センター
〒284-0003 千葉県四街道市鹿渡809-2
TEL 043-422-8811(代) FAX 043-422-8850
<http://www.chibaken-bunkazai-center.or.jp>



CONTENTS

- 発掘調査速報 よみがえる古代の役所
- 遺物紹介コーナー 人形に祈りを託して
- 遺跡今昔物語 田園地帯から、空港へ
- 平成16年度の主な行事予定



「よみがえる 古代の役所」

かずさのくにむさぐんが
—上総国武射郡衙—



調査区の全景

山武郡山武町と成東町の境に位置する嶋戸東遺跡は、奈良時代に造られた武射郡の役所跡（郡衙）です。

当センターでは役所の規模や建物の配置、役所が存続した時期などを明らかにするために、平成9年度から継続的に調査を行っています。

これまでの調査では大型掘立柱建物跡や、倉庫と考えられる基壇跡、門の跡等がみついています。

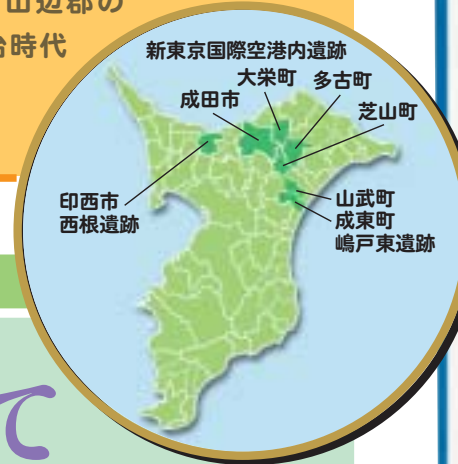
今年度の調査でも、倉庫の基壇跡や倉庫群（正倉）を区画する大溝等がみつかり、建物が建ち並んでいた様子の一端がうかがえました。倉庫には、当時税として納められた稲等を保管していたのでしょうか？

昨年11月8日（土）には遺跡の見学会を開き、大勢の地元の方々に参加していただきました。



見学会風景

*現在の山武郡という名称は、古代上総国武射郡の「武」と南に隣接する上総国山辺郡の「山」から一字ずつとって、明治時代につけた名称です。



遺物紹介 コーナー

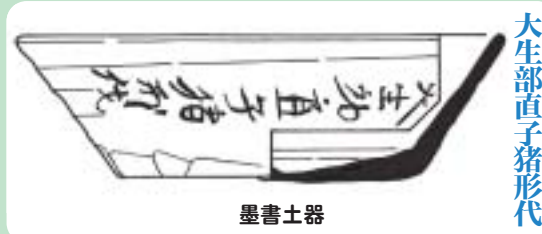
ひとがた 人形に祈りを託して —木製人形代—



木製人形代

今回紹介する遺物は、印西市西根遺跡から出土した奈良時代頃の「人形代」です。長さ約7.8cm 厚さ0.2mmの薄い木片でできたこの遺物が、人間をかたどっているのかわかるでしょうか？

当時の人々は、この「人形代」に罪穢や病気を移し、川岸などの水辺に流していました。こうすることで、人は災いを取り去って新しく蘇ることが出来ると信じられていたのです。



墨書土器

大生部直子猪形代

西根遺跡では、この他に人名と共に「形代」と書き記された墨書土器も見ついています。

田園地帯から、 空港へ

遺跡 今昔 物語

— 新東京国際空港内の遺跡 —

新東京国際空港（成田空港）は、標高40mほどの平坦地が広がる成田市・芝山町・多古町・大栄町にまたがっており、およそ1,000haの面積があります。この地域はもとは豊かな農地や牧場が広がる田園地帯でしたが、工事に伴って、昭和45年から用地内に点在する30あまりの遺跡の発掘調査を行ってきました。

調査の結果、旧石器時代の局部磨製石斧などの古い石器や縄文時代最古級の土偶・土器、弥生時代のムラの跡、奈良・平安時代の製鉄跡、江戸時代の牧跡がみつかりました。これらの成果は、発掘調査報告書として刊行されています。

現在、空港は平行する2本の滑走路で運用され、年間2,700万人（1日平均約7万人）の旅客が利用し、年間200万トンの貨物が運ばれます。また各種施設があり、約5万人が働いています。まさに空港を核とした一大国際物流基地へと大きな変貌をとげたといえましょう。



第2ターミナル南側地区



旧石器時代の調査



第2ターミナルとB滑走路（南側から）

旧石器時代

縄文時代

弥生時代

古代

中世

近世

近・現代

約12,000年前

約2,300年前

約1,700年前

飛鳥時代

奈良時代

1,192

1,333

1,573

1,603

安土・桃山時代

1,868

大正

平成